

(仮称)最上川水力発電所事業性評価事業

1. 事業の目的

本事業は、コスト削減が可能な精度の高い事業性評価のため、地形測量、地質調査、流量観測および解析調査(補助対象外)を実施し、その成果を用いて基本設計を実施する。

2. 事業の内容

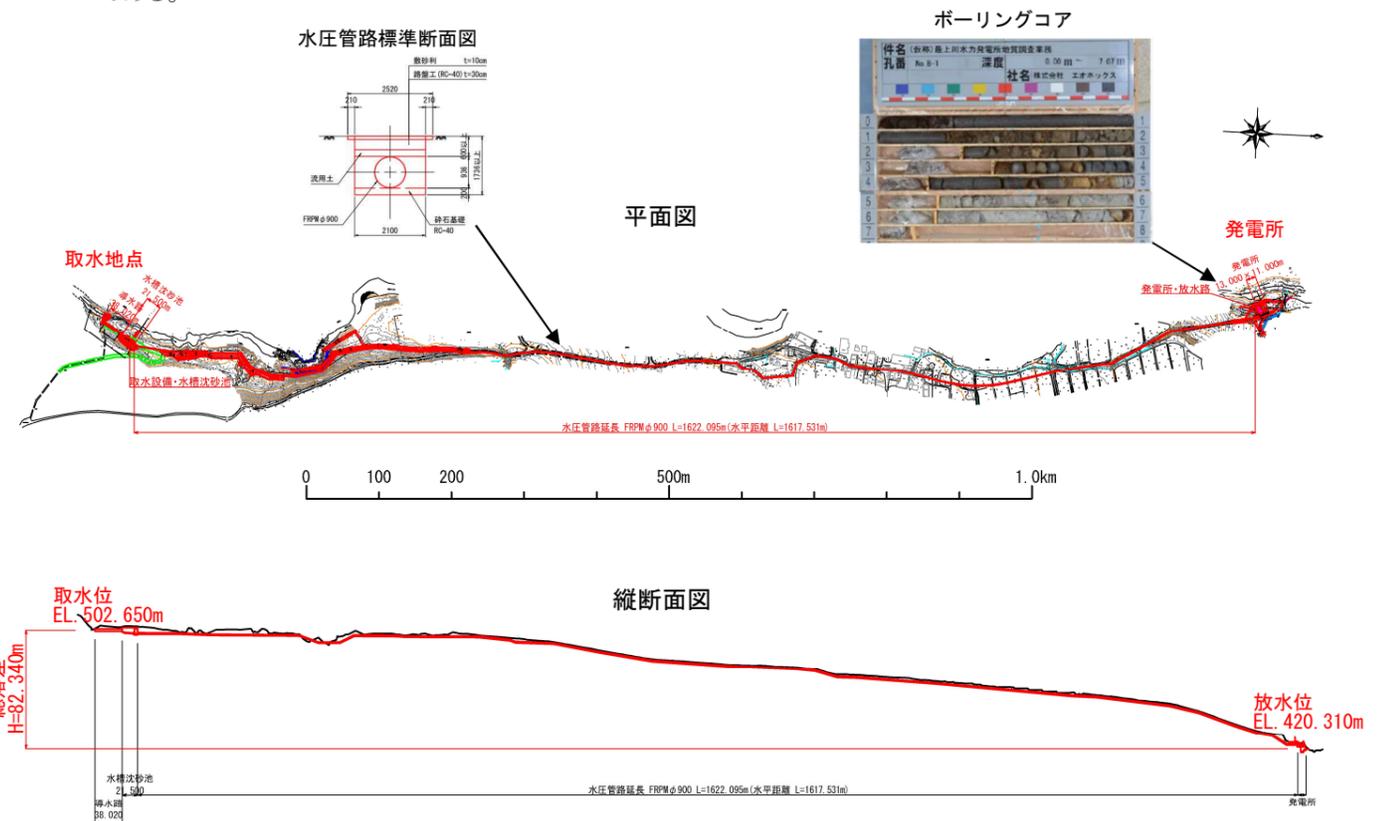
- (1) 事業者名
リニューアブル・ジャパン株式会社
- (2) 事業名
(仮称)最上川水力発電所事業性評価事業
- (3) 事業期間
令和2年6月25日～令和3年2月22日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
 - a. 発電形式：流込式(水路式)
 - b. 使用水量：1.58m³/s
 - c. 有効落差：74.70m
 - d. 出力：960kw

3. 令和2年度の事業実施概要

- ① 流量調査および解析調査(補助対象外)
水位計設置による水位連続観測、定期的な流量調査により河川流況の把握を行なっている。(継続中)
- ② 地形測量
発電所計画の地形測量、路線測量を実施し、詳細な平面・縦横断面図の作成を行なった。
- ③ 地質調査
簡易動的コーン貫入試験およびボーリング調査を行い、表土層と地盤強度の確認を行なった。
- ④ 基本設計および事業性評価
流量調査解析値、地形測量および地質調査の成果を用いて基本設計と事業性評価を行なった。

4. 事業の成果等

- ① 地形測量
地形測量、路線測量を実施し、基本設計に使用する詳細な平面・縦横断面図を作成した。
- ② 地質調査
地質、地盤強度地質・地盤状況を確認するとともに、各構造型式の検討に必要な情報を得ることができた。
- ③ 基本設計および事業性評価
地形測量結果、地質調査の結果を反映し、現実的な構造型式、規模の設定を行い、コスト削減を念頭において工事費を算定した。
最大使用水量・有効落差・発電形式等を検討し、総事業費を算定のうえ事業性を評価した。なお、現時点では、事業性はあるものと考えており、今後、実施設計を実施のうえ、更に高精度な事業性評価を行う予定である。



5. 事業スケジュール

調査項目	令和2年度(実績)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
流量調査	■ (実績)											
地形調査	■ (実績)											
地質調査	■ (実績)											
基本設計	■ (実績)											
事業性評価	■ (実績)											

